

村田 2025年度 前期号 市長活動報告

はるかぜ



裾野市長としてこの4年間、市政運営における経営戦略として『市長戦略』を掲げ、『人と企業に選ばれるまち』というビジョンの実現に邁進してまいりました。この戦略は、『日本一市民目線の市役所』をミッションとし、「人口と立地企業数の増加」「市民の抱える不安の解消」「市民満足度の更なる向上」「財政健全化の実現」「組織の生産性の向上」の5つの重点項目に沿った、計63の具体的な施策事業を展開してきました。

未来への礎を築いた確かな実績 ～1期目 4年の主な成果～

1. 財政再建で未来への投資実現

令和7年2月13日、市長就任当初に直面した『財政非常事態宣言』を遂に解除し、これにより、長期にわたる財政的制約から脱却し、未来への戦略的投資を可能とする強固な財政基盤を再構築した。市長給与3割削減や市の借地解消、公共施設の統廃合など『身を切る改革』と『仕組みで守る財政健全化』を断行した。

2. 企業誘致で活力、基盤整備で未来を



市長自らが『営業本部長』としてトップセールスを展開し、大手飲料水工場や技術力の高い本社工場を誘致。地域産業と立地企業の共創の仕組みづくりにも着手した。

裾野インターやウーブン・シティ周辺の歩道橋、都市計画道路（平松深良線）の整備で幹線道路網を強化。道の駅整備や裾野駅西区画整理を推進し、未来の社会基盤を整えている。

3. 市役所改革で利便性・生産性向上



総務省のモデル事業『窓口改革』を断行し、転居手続きを平均45分から10分へ短縮、市民の利便性を劇的に向上させた。また、子育て部やデジタル部を新設し、組織・採用改革で、質の高いサービスを担う人材確保と育成を進めている。

4. 公園整備で憩いと交流の場づくり



裾野駅西公園の開設やせせらぎ児童公園のリニューアルに加え、運動公園やヘルシーパークでの民間活力導入の検討も開始した。これら取り組みを加速させ、多世代が交流する賑わいの拠点となる公園づくりを進めている。

5. 市民の声で つくる公共交通

市民の声を反映し市内循環バスを再編・改善、利用率も向上した。国の実証事業としてビッグデータを活用した調査にも着手。今後は AI オンデマンド交通やライドシェア導入も検証し、多様な移動手段の展開を目指す。

村田 悠 のプロフィール

【略歴】
昭和62年 裾野市生まれ
千福が丘小～富岡中～
日大三島高校～日本大学卒業

参議院議員秘書、医療法人職員等を経て、
平成26年 裾野市議会議員初当選(1期目)
平成30年 裾野市議会議員再選(2期目)
令和4年 裾野市長 初当選(1期目)



飛び出す市長室

ぜひお立ち寄りください
イベントにブースを設けています

デジタル目安箱

ぜひご投稿ください
すべて拝読します



皆さまのご意見をお寄せください

村田はるかぜ後援会 事務局

〒410-1107 裾野市御宿 656-1(臨時事務所) TEL:080-3676-1883